

講演のご案内

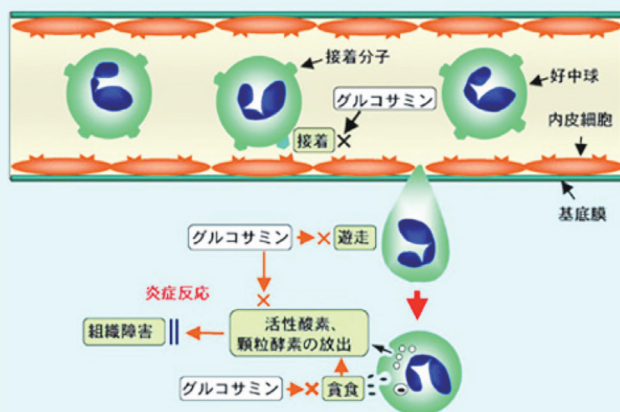
毎年、6月に開催されます後援会の定例総会にあわせて、
 医学部関係の先生方にご講演をいただいております。
 今年度は、順天堂大学医学部生化学第二講座担当教授 長岡 功 先生に

《グルコサミンと健康》

— グルコサミンの軟骨保護作用と抗炎症作用 —
 と題してご講演いただきます。

【抄録内容】

グルコサミンは、軟骨基質の成分として働くことから、軟骨保護作用を期待して、ヨーロッパでは変形性関節症に投与されている。しかし、我々は、グルコサミンが滑膜細胞、腸管上皮細胞、血管内皮細胞に対して抗炎症作用を示すことによって種々の炎症性疾患に対して防御的に働くことを見いだした。さらに、最近、グルコサミンが長寿遺伝子であるサーチュイン1を活性化することを明らかにした。



炎症反応における好中球の働きとグルコサミンの影響

炎症の際に好中球が活性化されると、接着分子を介して血管内皮細胞に接着し、さらに、内皮細胞の間隙を通して血管外に遊走する。好中球は炎症部位において、異物を貪食し活性化され、活性酸素を生成、細胞外に放出する。また同時に、蛋白分解酵素などの顆粒成分を細胞外に放出する。グルコサミンはこれらの好中球機能を抑制することにより(Xで示す)、炎症反応にともなう組織障害を防ぎ(IIで示す)、抗炎症作用を発揮する可能性が考えられる。

- 【所属】 順天堂大学医学部・大学院医学研究科 生化学・生体防御学(生化学第二)
 【学歴等】 1979年 順天堂大学医学部卒業
 1983年 順天堂大学大学院医学研究科 博士課程修了
 医学博士

開催日時 2019年6月15日(土) 15時開始
 総会議事からご参加下さい

開催場所 順天堂大学センチュリータワー 地下1階大会議室

ご不明な点は本郷・お茶の水キャンパス内、医学部後援会事務局までお問い合わせ下さい。

TEL: 03-5802-1021 FAX: 03-3814-6576